

福証IRフェア

2025年1月23日

日創プロニティ株式会社

証券コード：3440

INDEX

目次

- 01 会社概要**
- 02 当社を取り巻く事業環境と
チャレンジ**
- 03 2025年8月期第1四半期決算概況と
通期業績見通し**
- 04 当社の配当方針**

01

会社概要

グループ経営理念

日々創造

グループビジョン

「創る」力で未来に挑む 企業グループ

会社情報

■ 社 名	日創プロニティ株式会社 (英文表記：NISSO PRONITY Co., Ltd.)
■ 代 表 者	代表取締役社長 石田 徹
■ 本 社	福岡県福岡市南区向野 2 - 1 0 - 2 5
■ 設 立	1983年9月
■ 資 本 金	1,190百万円
■ セグメント	金属加工、化成品、建設、タイル
■ 連 結 子 会 社	12社 (分割準備会社含む)
■ 非連結子会社	1社
■ 関 連 会 社	2社



日創プロニティ株式会社
吾婦ゴム工業株式会社
日創エンジニアリング株式会社
綾目精機株式会社
株式会社ダイリツ
株式会社ワタナベテクノス

ニツタイ工業株式会社
株式会社天神製作所
カナエテ株式会社
株式会社マルトク
大鳳株式会社
フォームテックス株式会社

シキファニチア株式会社 (非連結子会社)
一般社団法人Natural Capital (関連会社)
GXエナジーソリューション合同会社 (関連会社)

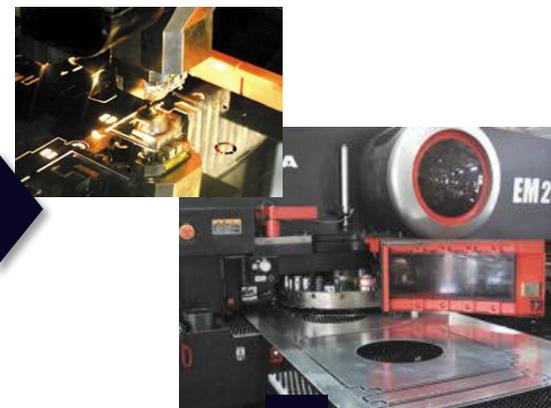
① 素材：コイル鋼材（薄板）



② 材料切断



③ レーザー加工
ターレットパンチプレス加工



⑥ 溶接・組立



⑤ 曲げ加工



④ バリ取り



当社の強み：あらゆる金属加工をワンストップで行える

■ 各種金属加工製品（オーダー加工品）



太陽電池アレイ支持架台



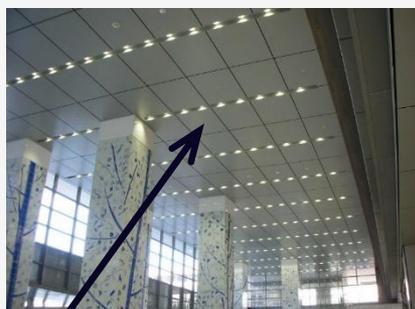
太陽光発電搭載型カーポート



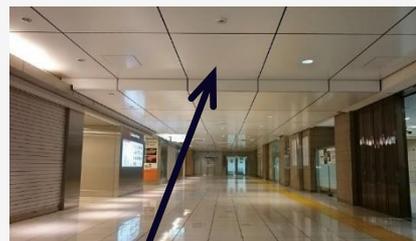
金属サンドイッチパネル
(耐火パネル)



アートパネル:外部天井パネル
(JR博多駅)



天井パネル:内装化粧パネル
(JR博多駅)



天井パネル
(JR東京駅キッチンストリート)

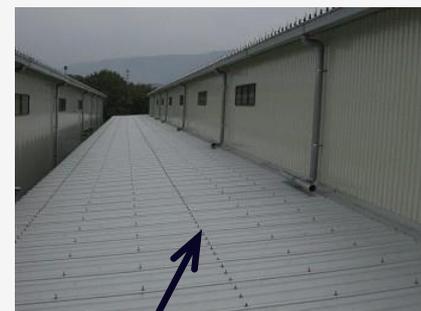


外壁パネル
(アルファロメオ店舗)



デザインパネル
(ポリスミュージアム:東京銀座)

■ 各種金属加工製品（企画品）



金属屋根材



金属壁材

➤ 以下広範囲な業界に向けて、各種金属加工製品を提供

- ・ 建築、建材
- ・ 環境、エネルギー
- ・ 工場、プラント
- ・ 駐車場
- ・ 仮設、プレハブ
- ・ 半導体
- ・ 農業、畜産
- ・ 車輛部品

ほか

日創プロニティ



金属加工業

建築建材・機械装置・土木・環境エネルギー等、様々な業界に向けて、コイル鋼材から一貫通貫で金属加工をおこなっております。

吾婦ゴム工業



ゴム製品製造業

原料ゴムからの一貫生産を行うゴムメーカーとして、土木製品、一般工業製品、建築製品、車両用品、道路用品を製造。

日創エンジニアリング



建設業

太陽光、パネル内装、金属内外装施工といった工事を中心に、日創グループ製品に付随する建設施工を担う会社。

綾目精機



金属精密切削加工業

印刷機、フィルム製造機、芝刈り機、ポンプ、エスカレーターなどに採用される精密部品を製造する会社。

ダイリツ



空調機器製造業

ダンパーと呼ばれる空調設備に取り付けられる機器を製造する会社。特殊品オーダーに強み。

ワタナベテクノス



防音消音機器製造業

ビルやデータセンターなどに設置される非常用発電機を囲うための防音・消音筐体を製造する会社。技術力、大型筐体製作力に強み。

ニツタイ工業



タイル製造業

内外装に用いるタイルを製造販売する会社。焼物として味わい深い湿式タイルの国内トップメーカーで、特殊品オーダーに強み。

天神製作所



畜産排泄物処理機器製造業

大型畜産農場等で導入される畜産排泄物の堆肥化プラント製造を手掛ける。ニッチな市場で顧客から信頼厚い。

カナエテ



ものづくりWEBサービス

良いプロダクトを有しているものづくり企業の製品を集め販売するECサイトKanaeteを運営する。

マルトク



内装用木材加工卸売業

内外装木材の加工や卸売のほか、ミリ単位で木製天板をオーダーカットできるECサイトマルトクショップを運営。独自の販売力を有する。

シキファニチア



洋家具製造業

ダイニングチェア、テーブル、ソファ等の家具メーカー。繊細なデザインを表現する高度なものづくり技術に強み。

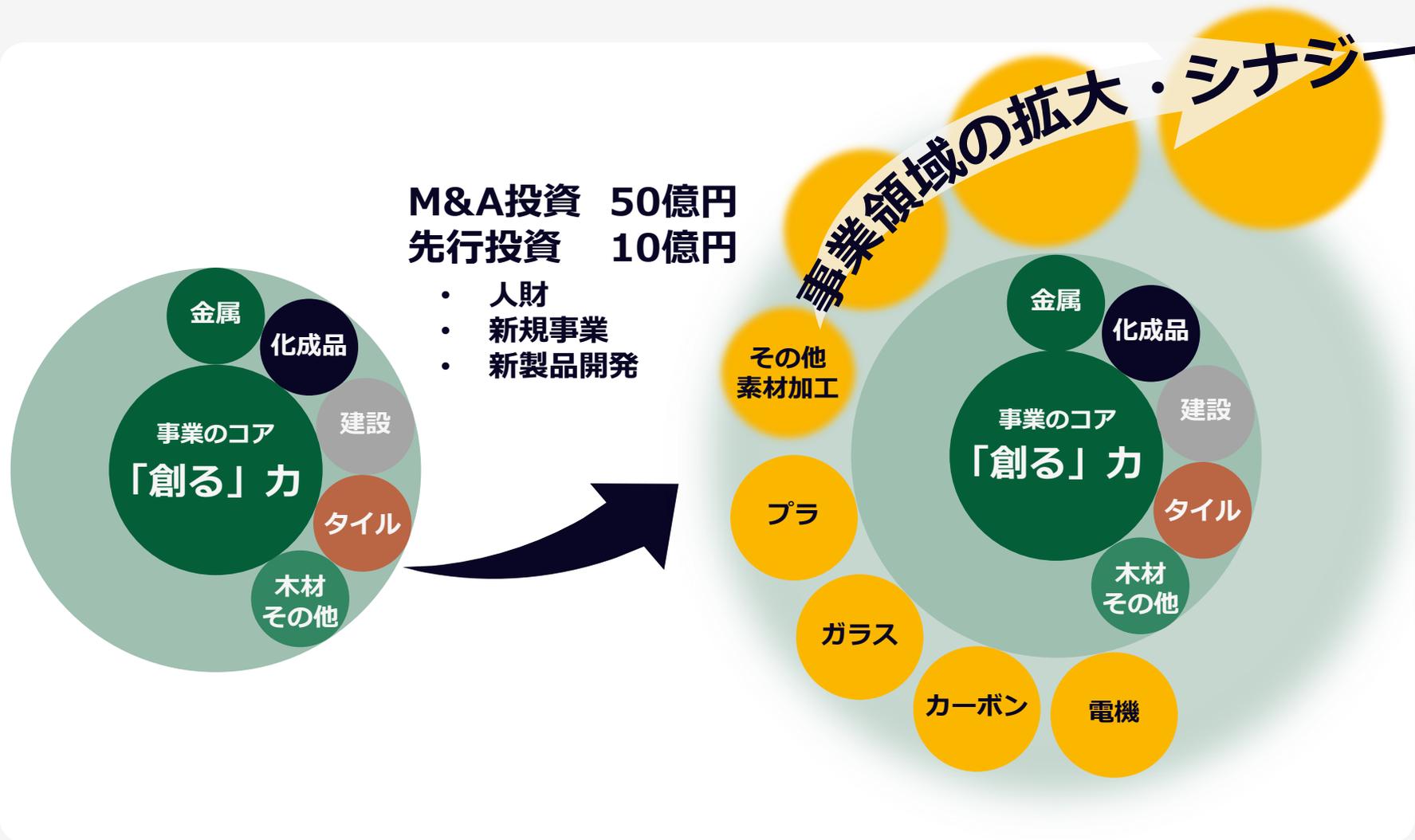
大鳳



化成品販売業

自動車、家電製品、住宅設備、土木などの各産業分野に向けてウレタン素材のパッキンやシール材を提供する会社。

事業のコアである「創る」力を軸に、M&A・人財・新規事業・新製品開発へ積極的に投資しながら、様々な素材、加工技術を有する製造業や、その周辺事業を中心に事業領域を拡大し、「創る」力で未来に挑む企業グループを目指す。



① M&A投資（成長ドライバーとして重要視）

- ・当社グループのM&Aが持つ社会的価値と経済的価値の両立
- ・「日創M&Aセブンルール」の明文化
- ・蓄積されたノウハウによるPMIの実行

投資枠
50億円

② 先行投資（中長期的な成長のため）

- ・人財・新規事業・新製品開発への先行投資
- ・設計工程や調達を一部海外へ移転する海外拠点化プロジェクト

投資枠
10億円

③ 持株会社化によるグループ支援体制の拡充

- ・プロフェッショナル人財「七人の侍」によるグループ支援体制の拡充
- ・グループ横断的な営業戦略・製造原価低減・新規事業・新製品開発などの推進
- ・さらなるグループシナジーを追求できる組織体制へ進化

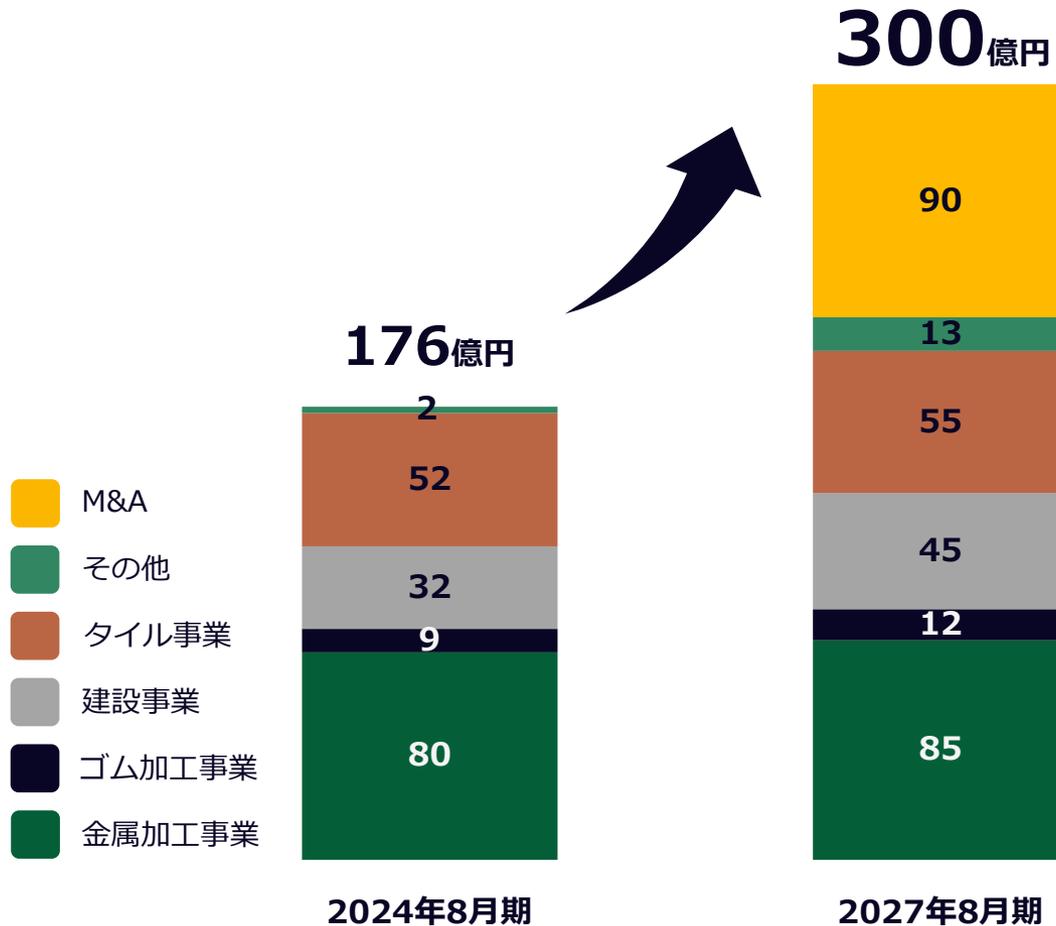
NI
七人の侍

④ 資本コストや株価を意識した経営

- ・当社グループのPBR、ROEといった現状を分析
- ・当社グループが考える目指すべきROE水準の設定
- ・達成するための具体的なアクションプランの実行

ROE
目標8%

M&A投資50億円、持株会社化によるグループ経営基盤の強化に向けた先行投資10億円（人財、新規事業、新製品開発）を通じて、最終年度2027年8月期は売上高300億円、EBITDA27億円を目指す。



**2027年8月期
目標（連結）**

売上高
300億円

EBITDA
27億円

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

**3ヶ年のM&A
投資枠**

50億円

**先行投資枠
(人財・新規事業・新製品開発)**

10億円

2025年6月より持株会社体制へ移行予定。グループ経営戦略（全社戦略）の策定、M&Aの積極的推進、グループ横断的な営業戦略・製造原価低減・新規事業・新製品開発を進め、各事業会社は持株会社による統制・支援のもと、事業環境の変化や事業特性に応じた柔軟かつスピード感のある事業展開を行っていく。

日創グループ株式会社

2025年6月～

シナジーを生むための全社戦略

M&A推進	経営管理
営業戦略	人財戦略
製造原価低減	IT戦略
新規事業	IR・PR
新製品開発	

日創プロニティ
(商号変更後)

吾婦ゴム工業

日創エンジニアリング

綾目精機

ダイリツ

ワタナベテクノス

ニツタイ工業

天神製作所

カナエテ

マルトク

大鳳・フォームテックス

シキファニチア

GXエナジーソリューション

ナチュラルキャピタル

連結子会社

M&Aによる会社数の増加に伴い、グループで取り組むべき課題が増加。持株会社体制への移行に伴い、持株会社から各事業会社を多面的かつグループ横断的に支援する体制を強化する。グループ経営を牽引するプロフェッショナル人財として「七人の侍」の採用と育成を推進中。

NI 七人の侍



M&A

M&A案件の検討、クロージング、PMIを推進・統括するプロフェッショナル人財

2025年2月採用予定

営業戦略

グループ全体の営業を推進・統括するプロフェッショナル人財

2024年8月採用済

製造原価低減

グループ全体の製造効率化、内製化支援、原価低減、品質改善などを推進・統括するプロフェッショナル人財

新規事業

新規事業を推進・統括するプロフェッショナル人財

新製品開発

グループ資源を活用して新しい製品を企画・開発するプロフェッショナル人財

経営管理

グループ全体の財務・会計をはじめとする計数管理を統括するプロフェッショナル人財

IT戦略

グループ全体のIT戦略を立案し効率化を推進・統括するプロフェッショナル人財

02

当社を取り巻く事業環境とチャレンジ

2024年12月に公表された「**第7次エネルギー基本計画（原案）**」およびその概要において、太陽光発電導入目標が刷新された。再生可能エネルギーを主力電源として最大限導入する方針が再度示され、太陽光発電の重要度は依然として高い。引き続き、**ソーラーカーポートの材工での提供や、電気工事受注等の取り込み**を狙う。



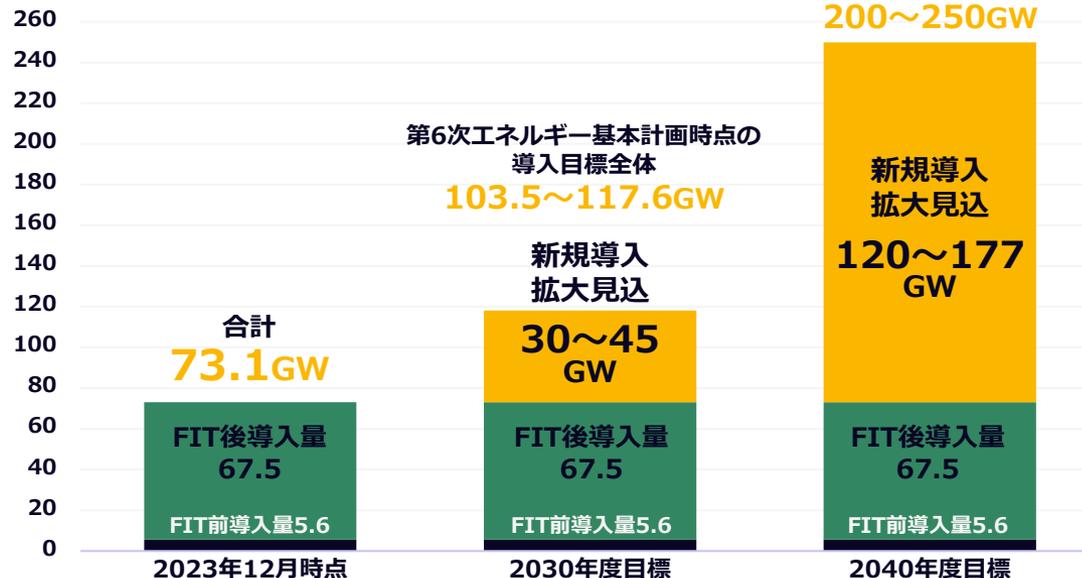
- 2040年に向けて、**2030年目標比約200%**の基本計画案。
- 政策的な後押しにより**自家消費型**を中心に拡大が見込まれる。
- 民間企業においてもカーポート型等、**自家消費型設置**へ機運。



太陽光発電の導入状況

単位：GW

第7次エネルギー基本計画（案）
導入目標（当社推計）
200～250GW



単純な売電市場から、より高度化した自家消費、蓄電池併設、FIT*1からFIP*2への転換など、**変化が加速すると見込む**

*1 FIT：固定価格買取制度と呼ばれ、再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定価格で一定期間買い取ることを国が約束する制度。買取価格は一定。

*2 FIP：再生可能エネルギーで発電した電気を卸電力市場で販売した際に、売電収入に加えて一定のプレミアムが上乗せされる制度。買取価格が変動。

出典：資源エネルギー庁「エネルギー基本計画（原案）の概要」（2024年12月17日）
資源エネルギー庁「再生可能エネルギーの導入状況」（2024年6月13日）より当社作成

建設子会社の日創エンジニアリングと連携し材工でソーラーカーポートを提供。

Honda熊本製作所にて東京ガスエンジニアリングソリューションズ（TGES）が運用を開始した、国内工場向けでは最大規模となるリチウムイオン蓄電池を導入した大規模な自家消費型プロジェクトへサプライヤーとして参画。

（参考）Honda熊本製作所での自家消費型太陽光発電モデル



再エネ電力は需要に応じて発電量を調整できない電源であり、出力制御*1の対象となった場合、発電した電力が無駄に捨てられる問題が生じる。九州管内だけで年間約10億kWh*2の電力が出力制御により捨てられている現状。この廃棄電力を有効活用する「FIT電源をFIPへ転換し蓄電池を併設する市場」が注目。

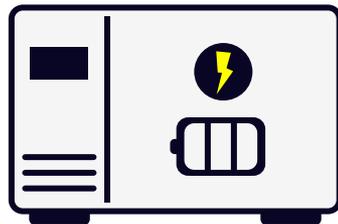


- FIT電源のFIP転換と合わせて蓄電池を併設する案件が増加。
- 蓄電池施工を狙った営業活動を日創エンジニアリングにて展開中。
- 「九州内で捨てられる電力を救う」という九州企業としての社会的意義も重視。

昼間発電量が多い時間帯



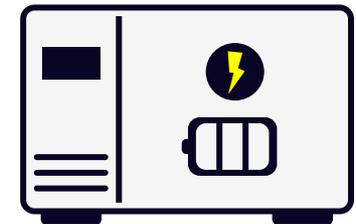
発電量が多いが売電価格が安い昼間は蓄電池へ充電する。



発電量は少ないが需要が多い時間帯



発電量は少ないが電力需要が多い夕方などの時間帯は売電価格が高いため、昼間に充電した蓄電池から放電して売電する。



FIT電源をFIP電源に転換し、電力の需給バランスと価格差を利用、裁定取引を行うことで、**経済的なメリット**が出る事例が増えている。この**FIP転換蓄電池設置・施工の市場**を日創エンジニアリングで獲得目指す。

*1 電気の使用量と発電量のバランスを保つために、発電（供給）量を制限すること。
*2 九州電力送配電「2024年度出力制御見通しについて」（2024年3月11日）より。

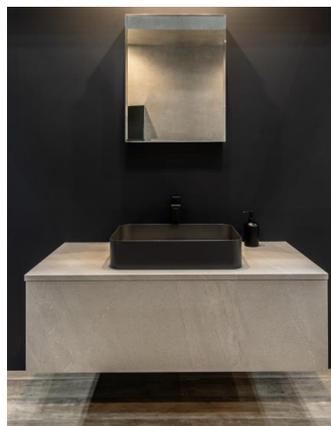
グループ3社で共同開発した洗面化粧台を、2024年11月に東京ビッグサイトで開催された「ジャパンホームショー&ビルディングショー」にて出展。クラフリー[Crafree]というブランドで営業展開を行っていく。2025年3月に発売開始予定。2025年3月には東京ビッグサイト「建築建材展」へ出展予定。

Crafree

あなたの暮らしに、非日常の空間を

旅先で感じるような感動と落ち着きを、
日常の中に落とし込み日々の暮らしを豊かなものに。

長年ものづくりに携わることで培ってきた技術力と、
新しい価値を具現化するデザイン力で、これまでにない
豊かな空間と豊かな時間を提供します。



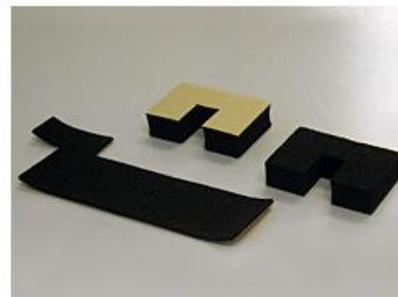
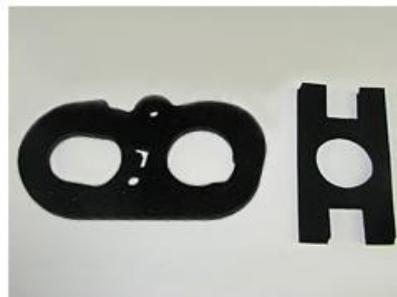
自動車、家電製品、住宅設備、土木などの各産業分野においてウレタン素材のパッキンやシール材を提供する大鳳をグループ化。300社を超える取引先ネットワークを有している同社がグループに参画することで、当社グループ全体の販路拡大に寄与。特に**当社グループ企業の吾孺ゴム工業との連携**に期待。

TAIHO 大鳳株式会社

■ 社名	大鳳株式会社
■ 本社	東京都中央区新川二丁目15番7号
■ 事業内容	ウレタン素材のパッキン・シール材の販売
■ 設立	1984年（昭和59年）9月

【大鳳の強み】

- ・蓄積された加工ノウハウ・材料特性ノウハウによるカスタマイズ提案力
- ・各種製品を素早く納品できる仕組みを確立し他社と差別化
- ・商品企画段階から販売先と関わる、提案営業力に強み



▲大鳳にて取り扱うパッキン・シール材一例（同社HPより抜粋）

WITHDOM Groupは注文住宅ブランドを展開する企業。特にYouTubeによるマーケティング活動に強みを持ち、デジタル領域でのブランディングと集客力を有する。2019年～2023年の成長率が527.4%を超え注文系ビルダーランキングで全国成長率No1の成長力*を有する。今回の出資をきっかけとして、金属・タイル・木材といった建材の提供、住宅設備の共同開発を通して、共に成長するストーリーを描く。

* (株)住宅産業研究所調べ

- 社 名 WITHDOM Group株式会社

- 代 表 者 代表取締役 南郷 克英

- 本 社 福岡市博多区博多駅東1丁目18-25-1F

- 事業内容 新築住宅/設計・施工
住宅リフォーム/設計・施工 不動産売買

- 設 立 2018年（平成30年）



タイル



床材、造作材



洗面台等の
住宅設備



家具



住宅に関する
製品の提供
共同開発



03

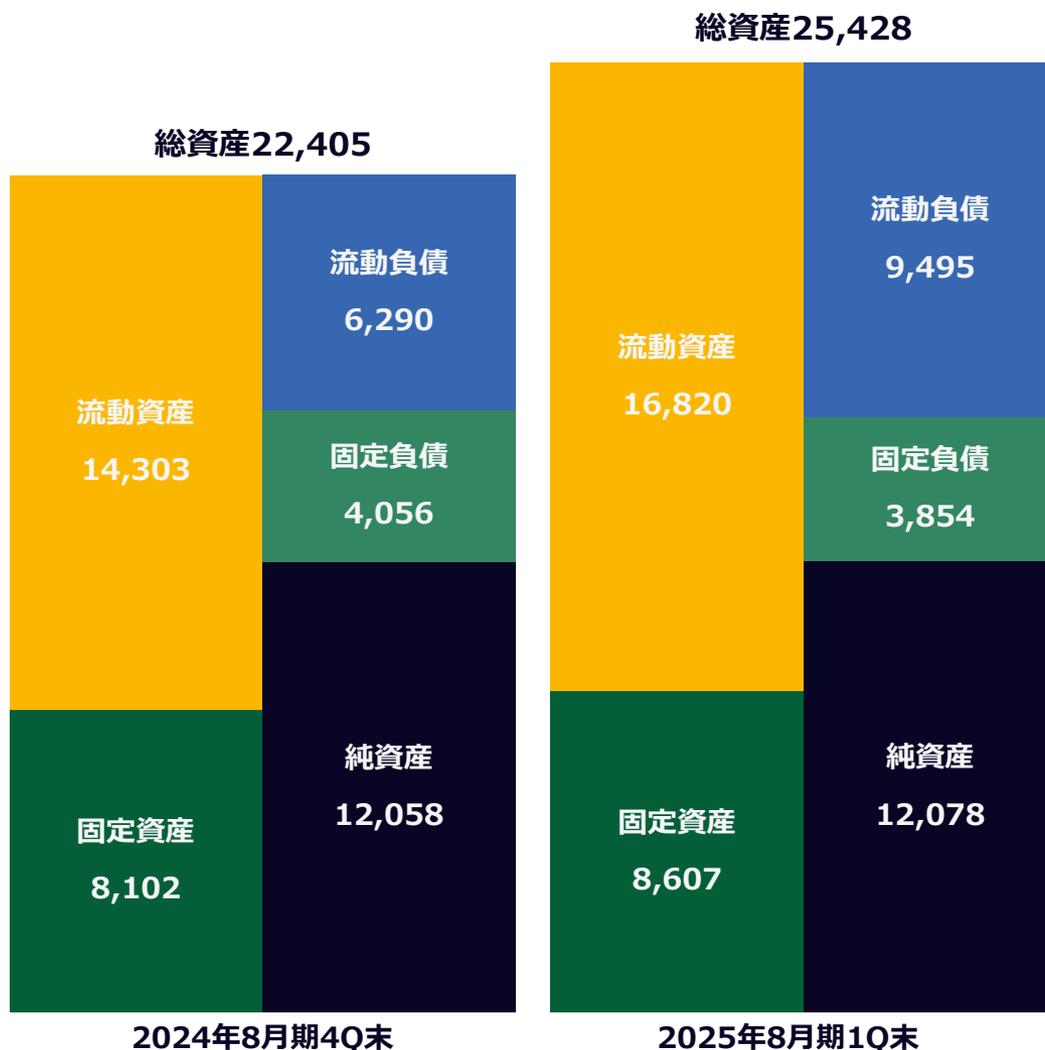
2025年8月期第1四半期決算概況と 通期業績見通し

金属加工事業においては金属サンドイッチパネル、建設事業においては太陽電池アレイ支持架台及び内装パネル工事が伸長したことで、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,620百万円（前年同四半期比51.0%増）、営業利益は384百万円（同13.2%増）、経常利益は395百万円（同8.1%増）、四半期純利益は241百万円（同7.9%減）となりました。

(単位：百万円)

	2024年8月期 1Q実績	2025年8月期 1Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比	2025年8月期 通期計画	2025年8月期 進捗率
売上高	3,721	5,620	+1,898	+51.0%	20,200	27.8%
営業利益	339	384	+44	+13.2%	1,281	30.0%
(営業利益率)	(9.1%)	(6.8%)	(▲2.3P)	—	(6.3%)	—
経常利益	366	395	+29	+8.1%	1,368	28.9%
四半期(当期) 純利益	262	241	▲20	▲7.9%	914	26.4%
EBITDA <small>(営業利益+減価償却費+のれん償却費)</small>	459	552	+92	+20.2%	2,041	27.1%
受注残	8,298	7,364	▲934	▲11.3%	—	—

(単位：百万円)



流動資産

前期末比 + 2,517

現金及び預金 + 497、
受取手形、売掛金及び契約資産 + 1,887、
電子記録債権 + 227、商品及び製品 + 123
流動資産のその他 ▲ 177

固定資産

前期末比 + 505

のれん + 325
投資その他の資産のその他 + 102

流動負債

前期末比 + 3,205

支払手形及び買掛金 563
工事未払金 + 358、短期借入金 + 2,180
未払法人税等 ▲ 109

固定負債

前期末比 ▲ 202

長期借入金 ▲ 285

純資産

前期末比 + 19

親会社株主に帰属する四半期純利益 + 241
剰余金の配当 ▲ 229

金属加工事業においては、金属サンドイッチパネルを中心にオーダー加工品が伸長しましたが、前年同期に高収益の物件が重なっていたことが影響し、セグメント利益は前年同期比減収となりました。

建設事業においては、太陽電池アレイ支持架台及び内装パネルの工事が伸長し増収増益となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より大鳳株式会社及びフォームテックス株式会社が連結子会社となったことに伴い、「ゴム加工事業」を「化成品事業」に変更しております。

(単位：百万円)

	2024年8月期 1Q実績		2025年8月期 1Q実績		前年同期比	
売上高	3,721	(構成比)	5,620	(構成比)	+1,898	+51.0%
金属加工事業	1,767	47.5%	2,013	35.8%	+246	+14.0%
化成品事業	257	6.9%	239	4.3%	▲17	▲6.8%
建設事業	444	11.9%	1,955	34.8%	+1,511	+340.0%
タイル事業	1,253	33.7%	1,258	22.4%	+5	+0.5%
その他	0	0.0%	152	2.7%	+152	—
セグメント利益	339	(構成比)	384	(構成比)	+44	+13.2%
金属加工事業	398	92.3%	282	55.4%	▲115	▲29.1%
化成品事業	29	6.8%	15	3.1%	▲13	▲46.7%
建設事業	▲24	▲5.7%	212	41.7%	+236	—
タイル事業	35	8.3%	31	6.1%	▲4	—
その他	▲7	▲1.6%	▲31	▲6.2%	▲24	—
調整額	▲91	—	▲124	—	▲33	—
営業利益	339	—	384	—	+44	—

金属加工事業における受注残高は前年同期比40.0%減少となったが、主に太陽電池アレイ支持架台の大型案件が消化されたことによるもの。建設事業においては、東京再開発関連の案件を中心に、前年同期比20.5%増。タイル事業においては、受注残高は28.2%減少。前年同期の受注残高はコロナ後の特需が影響し平年より大きかったため反動減となったが、当期は高付加価値案件を厳選受注しており受注残高減少したが収益面では改善見込める。

(単位：百万円)

	2024年8月期 1Q実績	2025年8月期 1Q実績	前年同期比	
金属加工事業	3,638	2,182	<u>▲1,456</u>	<u>▲40.0%</u>
化成品事業	90	265	+174	+192.9%
建設事業	3,274	3,945	+670	+20.5%
タイル事業	1,294	929	<u>▲364</u>	<u>▲28.2%</u>
その他	0	40	+40	—
合計	8,298	7,364	<u>▲934</u>	<u>▲11.3%</u>

04

2025年8月期連結業績見通し

2025年8月期におきましては、耐火パネルなどの金属サンドイッチパネル及びオーダー加工品の材工での受注、データセンター案件に紐づく受注が堅調に推移することに加え、大鳳の子会社化による業績寄与の影響を見込んでおりますが、持株会社体制への移行を見据えた人財・新規事業・新製品開発のための先行投資が増加する他、運送費の増加や主に建設事業において人手不足等に起因する工事外注費の増加を織り込んでいることから、通期の連結業績見通しにつきましては、売上高20,200百万円（前年同期比14.2%増）、営業利益1,281百万円（同0.4%増）、経常利益1,368百万円（同0.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益914百万円（同16.5%減）を予想しております。

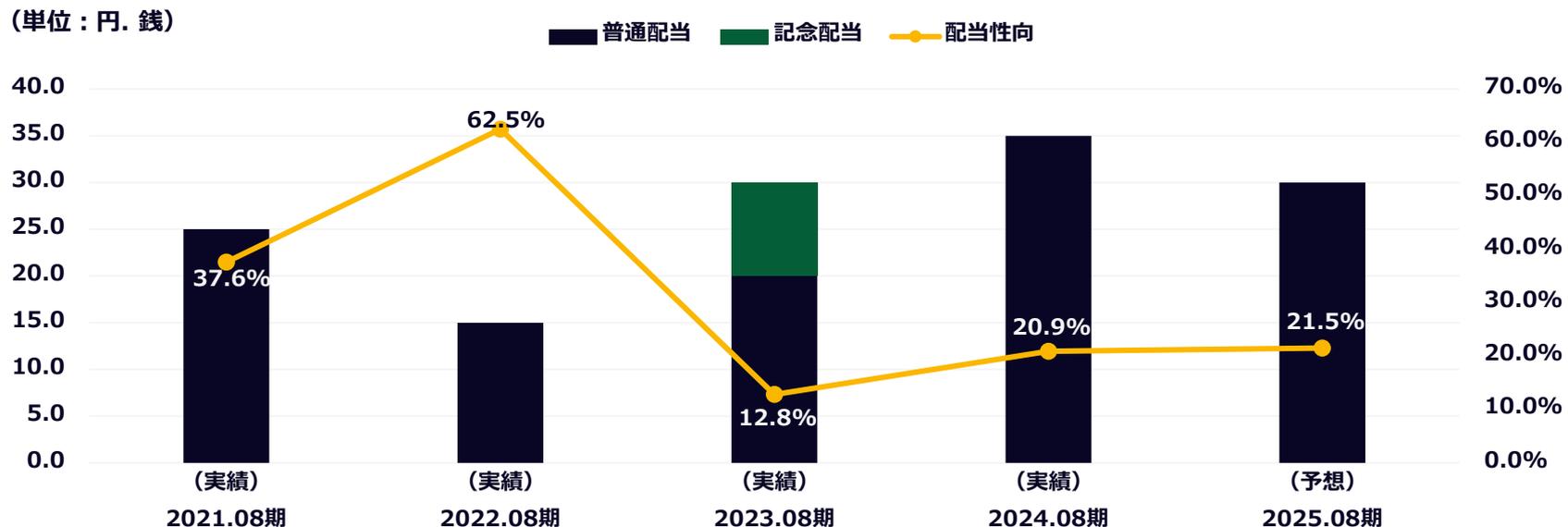
(単位：百万円)

	2024年8月期 実績	2025年8月期 通期業績見通し	前年同期比	
売上高	17,694	20,200	+2,505	+14.2%
営業利益	1,275	1,281	+5	+0.4%
(営業利益率)	(7.2%)	(6.3%)	—	(▲0.9P)
経常利益	1,362	1,368	+5	+0.4%
当期純利益	1,094	914	▲180	▲16.5%
EBITDA <small>(営業利益+減価償却費+のれん償却費)</small>	1,901	2,041	+139	7.3%

05

当社の配当方針

株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識すると共に、持続的な成長と企業価値向上を図るための資金を成長投資に振り向けていくことに力点を置きながら、各事業年度の経営成績を勘案して配当を行う。



(単位：円. 銭)

	2021.08期 (実績)	2022.08期 (実績)	2023.08期 (実績)	2024.08期 (実績)	2025.08期 (予想)
記念配当	—	—	10.0	—	—
普通配当	25.0	15.0	20.0	35.0	30.0
計	25.0	15.0	30.0	35.0	30.0
配当性向	37.6%	62.5%	12.8%	20.9%	21.5%



CONTACT

お問い合わせ

日創プロニティ株式会社
経営企画室

 092-555-2825

 <https://www.kakou-nisso.co.jp>

 ir@kakou-nisso.co.jp

■ ディスクレームー

本資料に記載されている計画、予測又は見通しなど、将来に関する事項等は、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、将来の業績等を約束するものではなく、今後様々な要因により変動する可能性があります。